

令和 7 年度 上越市立有田小学校 第 1 回学校運営協議会議事録

令和 7 年 7 月 4 日（金） 有田小学校 多目的室
進行 教頭

1 開会のあいさつ※略

2,3 学校長あいさつ（1 学期進捗状況）※①は略

② 本年度の教育活動について

校 長：学校の教育方針の中心は「言葉を変えること」である。ネガティブな考えを変えていくことが大切であり、「言葉を変えること」が友だちとつながることにつながる。具体的には、①あいさつをする、②あたたかい言葉を伝え合う、ことである。教職員みずから人と上手に関わる力をつけていこうと伝えている。また学習面では、タブレット PC が導入され、児童は徐々に使えるようになってきた。学校で取り組んでいることに賛同いただき、歩調を合わせていただきたい。「子どもを語る会」についても徐々に保護者の方の人数が増えている。普段の授業では「本当に仲が良くなる活動」を取り入れている。教育活動が形骸化しないように、その都度考えながら、学校全体で取り組んでいきたい。

③ 学校評価について

教 頭：保護者用アンケートは、子どもはそう思っているが「大人はどう考えているのか？」を実証するためのものである。心配なのは、SNS のやりとりが頻繁に行われ、低年齢化していることであり、SNS を ON にしたまま、ゲームの中で会話を長時間行っている実態がある。スクールマネジメント実践報告書については、学校の教科書では学ぶことのできない、体験学習等（動物飼育など）を今年度も行っていく。PTA ボランティアで多くの方にご参加いただき、とても感謝している。その他には消防署に行く等の校外学習がある。また地域の中で興味ある場所を探し、学びを深めている。（例：リージョンプラザ等）

4 意見交換「有田の子どもと共に歩む」

委員 G：PTA として、子どもにとってより良い環境をつくっていききたい。「あだ名」については自分も子どもの頃に嫌な思いをしたことがあるが、低学年のうちに「あだ名」についての授業を行っていただき、感謝している。自分たちが子どもの頃は、叱られたり、厳しく指導されたりすることが当たり前となっていたが、現在は先生の立場が弱くなっているのではないかと心配している。

委員 F：授業参観は、子どもたちが主体的に生き生きと学ぶ姿が見られ、ここ数年で有田小が変わってきた。保育園で学んだことを小学校で生かしてくれていることをとても嬉しく思う。「大人が変われば子どもが変わる」を自分自身大切にしている。

委員 E：3年生と6年生の授業を参観したが、内容が盛りだくさんで、段階を踏んで指導をされてきたのかをぜひ知りたい。先生の問いかけに、子どもたちがどれだけ反応できるかに興味がある。お互いが本音をもって、課題について話し合う姿が見られれば理想的である。

委員 C：下校の様子を見守っているが、昨年度よりはあいさつが良くなってきたと感じる。近所に2年生の野菜の栽培授業に興味をもった児童を知っており、土地を貸したところ、親子で楽しく栽培を行っており、とても印象的であった。このような児童は増えてくれることを願っている。

委員 A：一緒に玄関前に立っているが、本当に変わってきた。学校に楽しそうに登校し、あいさつしながら学校に入っていく児童が増えた。PTA、地域とのつながりを更に大切にしていきたい。自分も地域の方に幼い頃に大変お世話になった。今、子どもたちが、様々な教育活動の中で、自分に接してくれることを大変うれしく思う。

委員 B：春日新田小の学区の子どもたちと接している。春日新田小も空いている土地に畑を作っている。水やりや観察なども容易であり、土のお金もかからずに活動ができる。有田小も畑を作って良かったと思っている。地域の人間は必ず協力してくれる。順調に校外活動ができていますが、問題は校外学習の際にバス代がかかることである。

委員 D：朝の見守りをやらせていただいて11年になる。(小猿屋小時代も含めて)登校の際に、高学年が低学年を一生懸命導いていることをとてもうれしく思う。PTAボランティアについては、とても素晴らしいアイデアだと思っている。このような機会が保護者同士の親睦につながり、良い伝統になることを期待している。昨今の教職員のニュースを見ているが、先生方がとても気の毒に感じる。逆境に負けないでほしい。

教 頭：今回の人権教育・部落問題学習の授業参観では、発達段階の児童の学びを知ることができ、良い機会であると感じている。駐車場の場所も変更させていただいたが、ご協力いただいたことに感謝している。アプリでも感謝の気持ちを配信したい。

委員 E：校長先生が話しておられたが、「子どもが学校に来てからが勝負」という言葉にとっても賛同している。知徳体の中で、知が先ではなく、徳が先であると考え。まず学校でしっかりと仲良く生活できることが大切である。校長先生が変わっても、この考えを続けていってほしい。

校 長：子どもが本当に学びたい、勉強したいと思わなければ知の成長はない。「力がつけば楽しいことが起こる」ように教育活動を仕掛けていかなければならない。校長が変わっても、この考えを継続していきたい。

委員 A：PTAとしても全員が気持ちよく、継続して活動できるように努力していきたい。子どもがやりたいことをサポートしていきたい。

校 長：考え方の歩調が合っていることに感謝したい。

委員 D：毎日本当に楽しい活動を見させていただいている。毎日がドラマの連続である。

教 頭：子どもが興味をもつことを支え、サポートすることが本当の子どもの成長の価値

であると私も感じている。

5 閉会のあいさつ

教 頭：今回、ご意見をいただいていることに感謝申し上げます。また様々なご意見をいただけることをお願いしたい。

*本議事録は発言の趣旨をまとめたものであり、発言そのものを記録したものではありません。